

# 一 般 質 問 要 綱

平成 23 年第 2 回 3 月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	7	渡 部 信 夫	1 空き家対策について	<p>(1) 空き家の実態をどのように把握しているか伺います。                      ア 居住可否の実態は把握していますか。                      イ 所有者が市外居住者である実態は把握していますか。                      ウ 相続が不明な空き家がありますか。</p> <p>(2) 固定資産税の徴収について伺います。                      ア 居住家屋と比較した場合の納付の実態を把握していますか。                      イ 徴収に問題は生じていませんか。</p> <p>(3) 居住可能な空き家を利用した定住促進政策について伺います。</p> <p>(4) 居住不能な空き家の対策について伺います。</p>
			2 農業委員会が示した「平成 23 年賃借料情報並びに農作業料金基準額表」について	<p>(1) 賃借料情報について伺います。                      ア 算出方法について伺います。                      イ 著しく低額あるいは高額で除外した例はありますか。その理由は何ですか。                      ウ 昨年の米価下落が反映されていないと思いますが補足情報を提供すべきでないですか。</p> <p>(2) 農作業料金基準額について伺います。                      ア 昨年と変化がないようだが、どのような検討がなされましたか。                      イ より詳細な基準額の提供ができないか伺います。例えば、湿田刈取りの加算額、田植え同時防除の加算額、石抜き精米や色彩選別精米など</p>
			3 市有集会施設の譲渡について	<p>(1) 譲渡における基本的原則について伺います。                      ア 費用負担の不均衡を早期に是正できる原則を示して下さい。                      イ 修繕や舗装の条件協議は新たな不均衡が生じると思われるが、どのように進めますか。</p> <p>(2) 譲渡が困難な場合について伺います。                      ア いわゆる限界集落等において譲渡が困難と思われる施設はありますか。                      施設利用世帯数や高齢化率などを考慮し、特例を設ける考えはありますか。                      イ 譲渡の協議が不調な場合を想定していますか。どのような扱いになりますか。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
2	8	遠藤金美	1 今冬の豪雪について	産業・市民生活への影響の課題、問題点について、今後の対応、対策を伺いたい。
			2 都市間交流について	国内外他市との交流をどのように進めるのか伺いたい。
			3 教育行政について	(1) これからの道德教育の進め方について伺いたい。 (2) 実業高校に対する市の考え、支援について伺いたい。
3	3	田部輝雄	1 会津喜多方中核工業団地造成事業の善後策について	(1) 今回の当初予算によりやく具体的な善後策が示されました。断念してから今回の提案に至るまでの経過については、過日の全員協議会資料で示されましたが、抽象的な内容であり再度伺います。 (2) 現在の地下水を継続して利用する事になりますが、修繕後の維持管理に対する市の考えについて伺います。 (3) 土地改良区や関係団体との整理も済んで、今回の当初予算に提案されていますが、これまでの議論のポイントはどのような内容であったのか伺います。
			2 雇用対策について	(1) 昨年の 4 月に開設した「雇用相談センター」の実績についてですが、開設して 4 ヶ月の 8 月末現在の利用が 235 件でありました。その内実際就職に付いたのが 48 名でした。それでは、それ以降今年の 2 月末現在の利用者数と就職出来た人数は何名か伺います。 (2) 今年の高卒就職率はその後どのようになっていますか。まだ決まらない高卒者に対しては、昨年と同様に緊急雇用として支援していくのか伺います。 (3) 農林業振興と雇用対策について、市は総合計画の中で、「本市の基幹産業である農林業の振興を図っていく事は極めて重要である。」として、グリーン・ツーリズムの推進をはじめ、林業の振興などについて取り組んできた訳ですが、今年度の取り組みの中で実際雇用創出につながった具体的な事例は何か伺います。 (4) 資料によると、この間トップセールスや企業訪問を精力的にされているようですが、全市的に見てどのような雇用状況になっているか分析されましたか。その中からどのような雇用対策が必要なのかを検討されましたか伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			3 地域公共交通の取り組みについて	(1) この 4 月から試行運転に入る予約型公共交通「デマンド交通」の概要について伺います。 (2) 試行運転以降、今後のスケジュールはどのようなになるのか伺います。 (3) 過日、連合福島耶麻喜多方地区連合会等より市に提出された緊急要請書の内容について、市はどのような対策を講じられたのか伺います。また、その内容に対する市の見解を伺います。
4	25	佐原正秀	1 民俗芸能の継承をどう進めるかについて	(1) 本市の民俗芸能の実態はどのようになっておるのか。 (2) 本市の民俗芸能の継承あるいは文化財に対する助成策はどのように取組んでおるのか。 (3) 地域の伝統文化を指導する授業を小中学校の総合学習の時間に取り入れるような体制づくりは (4) 保存団体が意見交換し、専門家による指導を受ける体制、助言を受ける場の設置はどう進めるか。 (5) 民俗芸能の継承に力を入れなければ、若者の地域社会のつながりが希薄化することにつながるが、これらに対する対応をどう図るのか。
			2 災害時の福祉避難所指定について	災害時の福祉避難所運営などについては、1997 年に制度ができてから 10 数年以上が経過しても自治体への周知の徹底が図られないのが現状であるが、万一に備える体制が重要であり、本市における福祉避難所指定の現状はどのようになるのか。
			3 行財政改革の在り方について	(1) 市民とともに歩む行政の姿とはどのようなものがあるか。 (2) 行政評価制度における市民との協働評価をどのように考えるか。 (3) 協働評価（事業仕分け）の方法、目的はどうされたか。 (4) 新年度の行財政改革はどのようなものがあるか。 (5) 行政の役割の変化と市民の力（市民のニーズが多様化する中での公共サービス）についてどう取組まれたか。 (6) 行財政改革の課題と目標は何か。
			4 食品産業農場の誘致活動について	食品産業農場の誘致活動は本市の耕作放棄地解消や雇用の創出、あるいは後継者育成

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				にもつながるので対策を図るべきと思うがどうか。
5	1 2	長 澤 勝 幸	1 入札問題について	(1) 入札制度等監視委員会について (2) 総合評価落札方式について
			2 除雪対策について	(1) 本年度の対応について (2) 地域・各団体との連携協力について (3) 高齢者世帯対策の充実について
6	2 2	齋 藤 仁 一	1 地域共同体再生について	(1) 水源の里再生に向けた取り組みの現状と成果、その課題と今後の具体的な取り組みについて、伺いたい。 (2) 市内全地域での地域共同体再生が急務であると考えているが、この事について、市はどのような認識を持っているのか、また、この課題に対してどのように取り組んでいく考えか、伺いたい。
			2 農業の担い手対策について	(1) 地域農業の担い手確保と育成は、雇用の場確保にもつながると考える。市はどのように対応する考えか、伺いたい。 (2) 新規就農者等担い手にとっても農産物の販売をどうするかは、最大の課題である。市として農産物の販売に対してどう対応するのか、伺いたい。
			3 光ファイバ網整備後の活用について	今年度事業の一つとして光ファイバ網整備事業を実施しているが、この光ファイバを活用した事業、具体的には、住民の保健・福祉での在宅福祉や健康管理システム等、住民生活の安全安心での防災システム等、さらには買い物難民対策等考えられるが、市として具体的な活用について検討する考えはあるか、伺いたい。
			4 病んでいる方々への対策について	(1) 働きの場のない若者等が引きこもりになっている現状があるが、市はこれらの現状をどう把握しているのか、また市は具体的にどう対応しているのか伺いたい。 (2) 精神的に病んでいる方々への対策はどのようにになっているのか、伺いたい。
			5 除雪対策について	(1) 今年度の高齢者等除雪支援事業の実施状況はどのようになったのか、伺いたい。 (2) この事業に対して、使い勝手を良くすることも含めて見直しを図るべきと考えるが、伺いたい。 (3) 県は、除雪機械購入等への補助事業を創設したが、市としてどう対応したのか、伺いたい。
7	1 8	五十嵐吉也	1 豪雪対策の取組	市民生活に支障を及ぼす豪雪に対処する

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			みについて	ため、豪雪対策マニュアルの整備を図られ、市民生活の確保に努められているのかお伺いします。
			2 市民のための市政について	(1) 市民の意見やニーズをいかに把握されておられるか。 (2) 三ヵ年実施計画に基づき市民生活を重視した主要事項で前倒し、又は先送りした取り組みは (3) 会津北部の中核都市として発展していくための施策は (4) 行財政改革を進めるにあたり直面している課題と公約されている事項の取り組みは このことについてお伺いします。
			3 生活福祉資金の貸し付けについて	利用状況についてお伺いします。 (1) 利用者数、利用額は増えているのか。 (2) 回収が困難なケースは生じているのか。
			4 青少年の支援体制について	県は支援体制を整えるため、県内のハローワークや市町村教育委員会、福祉事務所に参加を呼びかけるとのことですが支援体制の取り組みについてお伺いします。
8	4	渡部 一樹	1 市長の政治姿勢について	(1) 山口市長が就任されて1年が経過した。本市の将来像と政策的課題について伺いたい。 (2) 新重点推進事業について市長の考え方を伺いたい。
			2 人事評価システムについて	人事評価システム導入の進ちょく状況について伺いたい。
			3 子育て支援について	(1) 昨年12月に会津坂下町において幼稚園の保育料を無料化にすることが決まった。本市においても導入する考えはないか伺いたい。 (2) 3人以上の子どもがいる世帯を支援する「3人っ子政策」について検討してみてはどうか。当局の見解を伺いたい。
			4 人口減少対策について	(1) 人口減少の要因は何か、当局の見解を伺いたい。 (2) 平成23年度当初予算における人口増加に資する事業は何か伺いたい。
9	27	物江 和一	1 市町村合併の検証と課題解決について	地方分権の推進、少子・高齢化の進展、広域的な行政需要の増大、行財政の効率化等を合併効果として定め、一市二町二村が合併して満5年が経過した。しかし、市民からは「合併しても何も良いところがない」との声が多くあがっている。サービスは高い方に、負担

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>は低い方にの基本的な姿勢も崩れ、スケールメリットも判然として見えてこない。「合併はゴールではなく、新しいまちづくりのスタート」ともいわれ、合併効果が生まれるのはこれからだとの見方もあるが、市民にとっては遠い将来より明日の生活が大切なことも理解しなければならない。この 5 年間を振り返り、しっかりと検証を行い、課題があるとすれば、解決のために全力を傾注すべきと考える。市長としてこの一年間市政を担ってこられたが、その立場から合併について、いかなる所感をお持ちなのかも含めて以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 合併効果があったと思われる点は何か。</li> <li>(2) 合併によって市民サービスが低下したものは何か。</li> <li>(3) 事務事業の統一によって市民負担が増加したものは何か。</li> <li>(4) 合併によって県より権限移譲されたものは何か。また、その効果は</li> <li>(5) より大切な一体感の醸成を進める方策は何か。</li> <li>(6) 残された課題は何か。その解決のための施策は何か。</li> <li>(7) 検証した効果や課題について分かり易く書面にまとめ、市民に周知し、理解と協力を求める必要があると思うが、いかがか。</li> </ol>
			2 組織機構改革と総合支所の位置付けについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新年度から新たな組織機構を構築することのだが、その目的と具体的な姿がどうなるのか、伺いたい。</li> <li>(2) 市長公約に「総合支所の機能充実」を掲げているが、新年度からの総合支所の役割と具体的な機能充実をどう図るのか、伺いたい。</li> <li>(3) 総合支所機能の充実策として人員の確保と決裁権限の拡大が必要と思われる。その場合、支所課長も級別職務分類表にある本庁課長と同格の 6 級職とすべきでないか、伺いたい。</li> <li>(4) 現在、本庁舎建設を検討しているが、規模、機能等は支所の役割やあるべき姿と関連して考慮すべきである。本庁と支所を合わせた全体構想は</li> <li>(5) 本市の一体的な発展や災害時の危険分散を考慮するなら分庁舎方式も考えられ</li> </ol>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			3 ふるさと納税の受入れと事業実績について	<p>るが、検討の経過はあるのか、伺いたい。</p> <p>平成 20 年 7 月から導入された、ふるさと納税は財源の確保と喜多方市出身者の故郷の発展に寄与したいという願いが実現できる素晴らしい政策と思われる。以下の点について伺いたい。</p> <p>(1) 年度別の受入れ実績は</p> <p>(2) いかなる事業に活用されてきたのか。</p> <p>(3) 協力者に対する市の対応は</p> <p>(4) 今後、支援要請を拡大するための啓蒙方策は</p>
10	9	佐藤吉孝	1 予防接種（子宮頸がん）の今後の見通しについて	<p>(1) 子宮頸がんの予防接種が個人負担 1 割で平成 22 年度より始まった訳であるが、負担の金額及び割合、接種の対象者及び方法はどのようになっているのか。</p> <p>(2) この予防接種は、およそ 10 年間は効果があり、7 割の人に効果があるという説があるが、市当局としてはどのような認識を持っているのか伺います。</p> <p>(3) この予防接種は、今後定期接種になるだろうといわれているが、定期接種との違い及び定期接種の仕組みについて伺います。</p>
			2 ボランティアポイントについて	<p>介護保険の財源を使った地域支援事業として介護支援ボランティア活動を通じて社会参加あるいは地域貢献を行った場合にメリットを付与する取り組みを実施する自治体が増えてきていると聞きます。</p> <p>また国では、平成 22 年度の補正予算において「地域支え合い体制づくり事業」を作り、ボランティアポイントの制度化を支援していくそうですが、市当局としてはボランティアポイントに対してどのような認識を持っているのか伺います。</p> <p>(1) この制度を導入した場合、メリット、デメリットは、どのようなものがあるのか。</p> <p>(2) この制度は、各自治体の創意工夫が必要とされているようですが、今後この制度の導入に対して検討または研究する考えはありますか。</p>
11	1	小林時夫	1 除雪問題について	<p>(1) 今後の豪雪による除雪について</p> <p>(2) 歩道除雪について</p>
			2 高齢者世帯等除雪支援事業について	<p>(1) 今回の除雪支援の実態について</p> <p>(2) 除雪支援事業の見直しについて</p>
			3 工事成績評定制度について	<p>(1) これまでの検討結果について</p> <p>(2) 制度導入について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			4 工事検査課について	(1) これまでの検討結果について (2) 工事検査課の設置について
1 2	1 0	渡 部 孝 雄	1 市長の政治姿勢及び施政方針について	(1) 財政規律について 5年間の「一般会計及び全会計の合計において市債バランスが保たれる」から、「一般会計を含めた全会計においてバランスが保てればよい」とするのは、財政規律の変更である。実質公債費比率の計算式とは別の問題である。毎議会主張してきたところであるが、一般会計において償還額以上に借り入れはしない、補助金は期限を設ける、成り行きや基準・計画のない支出はしないという従前の規律の堅持を求め、見解を伺う。 (2) 都市計画について ア 都市マスタープランを 23 年度には策定する予定となっているが、喜多方市の全体像及び均衡ある発展を現実のものとするための各地域の道路、公園等の整備方針を伺う。 イ 本庁、支所庁舎等合併特例債を活用した新市建設計画を具体化する建設事業が数多く計画されている。喜多方市全体、各地域の特性や人の流れを考えた、将来世代に残すのにふさわしい都市計画、地域計画を図面化して、無駄のない投資をすべきである。また、駅、商店街、公共施設との連結道路や駐車、イベント空間などを図面に配置する作業に市民ができる限り多く関わることができる仕組みが必要である。従来の諮問会議、パブリック・コメントではなく公開で開催される自治基本条例タイプの市民会議、公聴会の開催を求めるとともに、今後の地域計画や個別建設事業における市民意思の反映について、その考え方、方法を伺う。 (3) 福祉政策について ア 介護施設入所の待機者については、受けられるサービスが受けられない状態にある。これは不公平な状態であり、自宅において介護に当たっている家族の負担を考えた場合、何らかの応分の支援が必要と考える。そこで、自宅介護を支援する、介護応援費の支給を提案するが、当局の見解を求める。



通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>イ 集落集会所を高齢者が集う、生きがいづくりや見守りの場所と位置づけ、その運営を支援する制度が「ふれあいいいきサロン」の名称で社会福祉協議会において推進され、市はこれを補助金の形で支援している。地域住民の多くの願いとも合致する高齢化社会に対応した素晴らしい取り組みであることから、全市への拡大推進を求める。尚、社会福祉協議会への支援は、人・物・お金など資源全般にわたるものとして市側からの積極的な委託の形をとるよう希望するが、当局の見解を求める。</p> <p>(4) 産業政策について  公共投資においては、予定された品質が確保され、なおかつ安価であることが求められるが、経済的な波及効果が最も大きい発注、調達の方法を選択することも重要である。波及効果の最も高い、分離・分割発注の推進を求める。</p> <p>(5) 情報公開について  ア 先の議会において要綱の見直し、条例化について質問をしたが、その後の対応について伺う。  イ 要綱行政と申請主義の弊害により、サービスの受給において不公平が生じている。知っている市民と知らない市民、申請できる市民と申請がさまざまな理由からできない人では、サービスを受給できる、できないという不公平が生じている。  これを解消するための一歩として、要綱を公開すべきと考える。職員についてはすべての要綱を検索できること。市民については少なくとも補助要綱などのサービスについて誰でも知ることができる状態とすべきと考えるが、当局の見解を求める。</p> <p>ウ 必要とする全ての市民、地域及び団体に利用していただくために、制度目的の最大化という視点を持った行政運営を求めるが、見解は如何か。</p> <p>(6) 地区集会施設の無償譲渡について  ア 無償譲渡を妥当とする根拠は何か。  イ 集会施設の公共性をどのように位置</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				づけているか。 ウ 地区所有集会所の維持管理や建替費用は、地区の大きな負担となっている。市全体の地区集会所が地域の拠点となる施設として存続できる支援内容とするのが譲渡の前にやるべきことではないか。
1 3	6	富 田 幸 雄	1 平成 23 年度当初予算について	新重点新規・拡充事業について (1) 全国ボート場所在市町村協議会首長会議開催地負担金について (2) 全日本マスターズレガッタ開催地負担金について (3) 放課後児童クラブ事業の拡大について (4) 出会い創出推進事業について (5) 中小企業経営改善推進事業について (6) 農林産物等ブランド力強化支援事業について (7) 地域生活支援事業について (8) きたかた大使経費について (9) G I S (地理情報システム) 整備事業について
			2 学校教育について	子どもたちの「生きる力」をより一層はぐくむことを目指し、変化の激しい社会を生きるために、確かな学力（知）、豊かな人間性（徳）、健康・体力（体）をバランスよく育てることが大切であると考えております。 新年度における本市の子どもたちが取り組むべき、知・徳・体をどのように指導し、はぐくんでいくのかお伺い致します。 (1) 更に充実していく取組みについて (2) 新たに推進していく取組みについて (3) 男女の性差を考えた道徳教育について (4) 年齢的に見た道徳教育について
1 4	2 9	山 口 和 男	1 都市計画道路について	(1) 1-4 号線 外環状道路の整備について 旧喜多方市の道路網については南北をつなぐ道路に比較して東西の路線の整備が遅れている。標記の路線は国道 121 号線と縦貫道路の接続地点まで整備をすれば将来の経済効果は計り知れない。その事を見込んで今回調査費を計上した点は大いに評価できる。完成までの予算計上を進める決意を伺う。
			2 特別職報酬等審議会の答申について	(1) 条例違反ではないか。 (2) 議会の決定（特別委員会の報告、議長の付言）をどう理解したか。 (3) 答申をどう理解したか。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(4) 説明資料と審議委員の質疑に対する答弁が不適切でないか。
15	2	坂内鉄次	1 道路行政について	(1) 県「道づくりプラン」について (2) 道路整備評価制度について (3) みんなの道づくり事業について (4) 旧 121 号線の維持管理について
			2 上水道等未普及地区の飲料水の確保について	(1) 飲料水の安全性について (2) 入田付地区の上水道建設について
16	13	渡部勇一	1 新本庁舎建設について	(1) 建設目的は何か。 (2) 街づくり（都市計画）との関連は何か。
			2 雇用対策について	(1) 緊急雇用対策の成果は何か。 (2) 雇用対策に求められるものは何か。
			3 経済及び雇用の活性化について	(1) 起業の効果について (2) 起業助成制度について